

2016年5月12日

富士重工業 2016年3月期 通期連結業績の概要

<2016年3月期 通期業績：連結売上高>

スバル車の全世界販売台数は、前年同期比 5.2%増の 958 千台となりました。国内販売では、新型車効果の一巡した登録車が前年を下回ったことなどにより、同 10.7%減の 145 千台となりました。海外販売では、レガシィ/アウトバックが年度を通して好調であったことに加え、北米市場でインプレッサ/クロストレック^{*1}が順調に推移し、海外合計では同 8.6%増の 813 千台となりました。

連結売上高は、為替変動や販売台数の増加等により、同 12.3%増の 3兆 2,323 億円となりました。

<2016年3月期 通期業績：連結損益>

連結損益は、為替変動や販売台数の増加、原価低減の進捗等により、諸経費等ならびに試験研究費の増加をカバーし、営業利益が前年同期比 33.7%増となる 5,656 億円となりました。経常利益は同 46.6%増の 5,770 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同 66.7%増の 4,367 億円となりました。

なお、北米販売台数は 7 期連続で過去最高^{*2}を更新。全世界販売台数、海外販売台数、売上高、各利益段階のいずれも 4 期連続で過去最高^{*2}となりました。

<2017年3月期 通期連結業績見通し>

スバル車の全世界販売台数は、引き続き好調な北米などでの増加を見込み、前年同期比 9.6%増の 1,050 千台と、スバルとして初めての 100 万台超えを計画します。通期連結業績については、販売台数の増加や原価低減の進捗により、諸経費等ならびに試験研究費の増加をカバーしますが、為替レートを前年度よりも円高で見通し、連結売上高は同 1.9%減の 3兆 1,700 億円、営業利益は同 25.7%減の 4,200 億円、経常利益は同 27.2%減の 4,200 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同 32.9%減の 2,930 億円を計画します。なお、北米販売台数は 8 期連続で過去最高^{*2}、全世界販売台数および海外販売台数は 5 期連続での過去最高^{*2}となる見通しです。

また、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥105/US\$、¥120/EURO です。

*1：日本名 SUBARU XV

*2：通期連結決算の開示を始めた 1986 年 3 月期以降の過去最高